

# 川流

KA WA

KA TSU

特集

**西祖谷の神代踊がユネスコ無形文化遺産に登録されました**

インタビュー

**西祖谷の宝として再認識**

**踊りの輪を大きく広げていきたい**

**～西祖谷神代踊保存会 会長 小野寺 武夫さん～**

**日本ダムアワード2022 低水管理部門 受賞**

**ダム管理の仕事 ～ゲート整備工事～**

**新宮小中学校で「水のおはなしとSDGs」の総合学習を行いました**

**狭隘な現場におけるICT活用工事**



特集

# 西祖谷の神代踊が

## ユネスコ無形文化遺産に登録されました

～四国の最奥部で1100年以上にわたって受け継がれた西祖谷の神踊り～

2022年11月30日、ユネスコ(国連教育科学文化機関)の政府間委員会は、日本各地で継承されてきた民俗芸能「風流踊」について審議し、無形文化遺産への登録を全会一致で決めました。徳島県三好市西祖谷山村に伝わる神代踊は全国の風流踊(計41件)の一つとして登録されました。



西祖谷山村善徳地区と隣接する一宇地区の中心部。小学生が踊りを学ぶ市立様生小学校がある。

### 神代踊を含む風流踊とは

風流踊は華やかな、人目を惹くという「風流」の精神が根底にあり、踊り手は趣向をこらした衣装や持ちものをまとい、歌や、笛・太鼓・鉦などの囃子に合わせて踊る民俗芸能です。祭礼や年中行事などの機会に、地域の人々が除災や豊作祈願、雨乞いなど、安寧な暮らしを願って踊ります。

風流踊のユネスコ(国連教育科学文化機関)無形文化遺産への登録は、地域間の対話や交流を促進し、地域の人々の絆としての役割をもつ無形文化遺産の保護・伝承の事例として、国際社会における無形文化遺産の保護の取り組みに大きく貢献するという理由で決定されました。

### 1100年余りの歴史を持つ神代踊

神代踊の起源は諸説ありますが、菅原道真が讃岐守であった平安時代に行っていた雨乞い祈願の踊りが始まりと伝えられています。

色鮮やかな笠をかぶり、太鼓に合わせて踊ることから、古くは笠踊り、太鼓踊りと呼ばれていました。1922年(大正21年)の皇太子(のちの昭和天皇)の訪村に際して神代踊と名付けられました。

西祖谷の田ノ内、善徳、下名、徳善、



ちが居住地域に関係なく集まり踊るようになりました。踊りの力が地区という境界の壁を越え人を集める力となったのです。それでも、盛時の半分ほどの20数人しか集まらず、存続が危ぶまれる状況となっています。

吾橋などの集落で踊られていて、それぞれの集落ごとに所作の一部や歌の内容が異なっていました。現在では善徳地区と徳善地区の2地区で行われており、善徳地区では旧暦6月25日の夏祭りの際に天満宮に奉納され、徳善地区では、9月下旬〜10月上旬の週末に有宮神社に奉納されます。

### 存続が危ぶまれた神代踊

昭和29年に県指定無形文化財、昭和51年に国指定重要無形民俗文化財に指定されました。

盛時には総勢40〜50人もの人々によって踊られた神代踊ですが、昭和35年ごろから過疎化が進み、それに少子高齢化が拍車をかけたことで急速に担い手不足が深刻化しました。



笠踊り



インタビュー

# 西祖谷の宝として再認識 踊りの輪を大きく広げていきたい



練習に励む三好市立篠生小学生的みなさん

昔は一日がかりでした。朝の7時ごろに当屋に集まって、ひと踊りして荷物を背負って天満宮へ急な坂道を上るのですが、当屋が谷の下に位置していたら2時間近くかかりました。

## 踊り手の減少と踊りの伝承が最大の課題

役どころが多いことから、最低でも20人はいないと踊りは成立しません。40〜50人いたころは女性が輪になって踊っていましたが、いまでは5人くらいしか女性がいないので輪をつくれないうです。女性の踊りの輪の中に獅子や薙刀、棒振りなどが輪の中に入り込んで踊るのが本来の形なのです。

平成2年頃までは善徳の地域の人だけで従来の規模で踊っていたのですが、その後参加者が大幅に減ってしまいました。参加者の高齢化も進んで、技能の伝承も問題になってきています。

踊りにとって特に重要なのが太鼓です。13年くらい前に太鼓が受け継がれていたことが分かり、当時太鼓をやっていた方の自宅まで行って皿を叩きながら歌ってもらい、テープに録音したことを叩いている人は重要で、継承する人が居なくなったら踊ることができません。そうなったら大変だ、テープに残しておかなければならない」という思いで駆けたのです。

平成29年から三好市立篠生小学校で社会教育の授業として子どもに踊りを教えることをはじめると後継者の育成に力を入れ始めています。子どもたちは踊りを覚えるのが早く、驚かされます。

## 登録をきっかけに、より多くの人と踊りの輪を広げていきたい

今回の無形文化遺産登録はとても励みになります。神代踊に対する関心が高まることで、見てみよう、参加してみようと思ってくれる人が増えて、保存活動に弾みがつくのではないのでしょうか。学校を卒業後、地域を出て就職する人



露払い



法螺貝



棒振り



太鼓と獅子舞

## 代々に受け継がれてきた 当たり前前の踊り

神代踊がユネスコ無形文化遺産に登録されたことを三好市教育委員会の方から電話で伝えられた時は、正直なところ驚きました。伝統のある古い踊りとは自覚してはいたけれど、普段から当たり前のように踊り、特別なものという意識はありませんでしたから。

私は西祖谷の善徳で生まれ育って、数年離れたことになりました。神代踊は5歳のころから踊りはじめ、今でも踊っています。踊りはじめたころは、踊り手は善徳地域のただで50人ほどおり、華やかなものでした。今は他の地域の人に参加してもらっても、その半分くらいしかおられません。

## 踊りの魅力は バラエティーに富んだ内容

神代踊は踊りのバラエティー豊かで、

## この方に聞きました

西祖谷神代踊保存会  
会長  
おの だから たけお  
小野寺 武夫さん



徳島県三好市西祖谷山村善徳で生まれ育ち、現在も居を構える。5歳のころから神代踊を踊りはじめ、今なお踊り続けている。すべての役割をこなせる神代踊の生き字引的存在。日々、踊りの保存・伝承に取り組み、息抜きにはゴルフが一番だとか。

## この方に聞きました



三好市教育委員会 社会教育課  
主査 主任主査  
あきた あいこ みやた けんいち  
秋田 愛子さん 宮田 健一さん

## ちょっぴりプレッシャーを感じながらも 支えていきます

市は保存会の活動を保護するため、申請があったそのほかの民俗芸能団体同様、組織維持費として補助金を毎年4万円支給しています。また祭りの当日、篠生小学校の児童を学校から神社まで送迎するバスも運行しています。

地元の子どもたちには「こういう宝があるんだよ」ということは絶対知ってもらいたいです。がずら橋と神代踊は西祖谷の財産だと思いますから、踊りに参加するということは、体で学び、より深く踊りを知ることにつながると思いますので、外で就職した地元の方が戻ってくるきっかけにでもなればいいですね。

無形文化遺産登録後、どう残していくかがより大事になるので、踊りを残していくことにプレッシャーは感じています。少子高齢化の課題をどうクリアしていくのか。西祖谷全体で守っていく、ひいては三好市全体で守っていくようなことをしていかなければならないのかなと思います。



# 日本ダムアワード2022

## 低水管理部門 受賞

2年連続ノミネート  
からの受賞！

第10回  
令和4年12月17日

### 銅山川3ダム (吉野川ダム統管・池田総合管理所)

日本ダムアワードとは、ダムファンで構成される日本ダムアワード実行委員会により開催されるイベントで、一年間のダムの活躍を振り返り、実行委員が様々な角度から活躍したダムをノミネートします。委員と観客の皆さんによる投票で、各部門で今年もっとも印象に残る働きをしたダムを選出し、その功績を讃えよう、というイベントで、今年で十周年を迎えます。

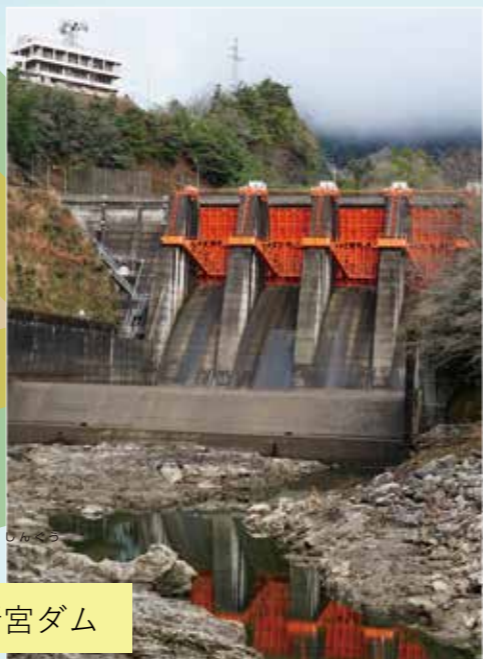
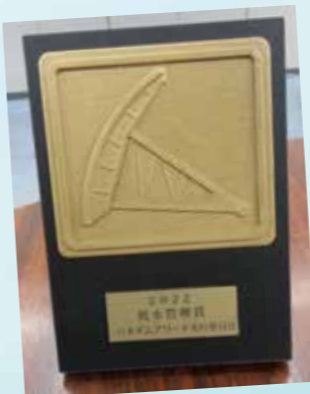
当日は実行委員の有志により、ノミネートダム毎の活躍や実績をダム管理者等への取材や実際にイベントに参加した感想などを盛り込んだプレゼンが行われました。

放流賞、低水管理賞、洪水調節賞、イベント賞と全体で大賞が一つ選ばれます。

銅山川3ダムの湧水対応は、昨年度のダムアワード2021でも低水管理部門にノミネートされており、今回は異例の2年連続ノミネートからの受賞となります。

今回受賞ダムは、左記のとおり。

- 【放流部門】 温井ダム
  - 【低水管理部門】 銅山川3ダム
  - 【洪水調節部門】 白川ダム
  - 【イベント部門】 竜門ダム
  - 【ダム大賞】 宮ヶ瀬ダム(イベント部門)
- ※ダム大賞に洪水調節部門以外から選出されるのは今回が初めてのことです。



新宮ダム



柳瀬ダム



富郷ダム

### 銅山川ダムの湧水対応 (過去最長2088日)

銅山川3ダム(富郷ダム、柳瀬ダム、新宮ダム)は、吉野川支川銅山川に建設されており、吉野川の洪水調節のほか、水道・工業・かんがい用水として愛媛県へ分水を行うとともに発電も行っている多目的ダムです。

銅山川流域は少雨地域であり、ほぼ毎年湧水となつていますが、令和3年11月〜令和4年9月にかけての湧水は、銅山川3ダム運用開始以降、最も長い取水制限の期間(298日)となりました。

この間、関係利水者の協力も得てダムの容量をできるだけ延命する取り組みや上下流のダム連携による水質悪化を防ぐ運用などを行い、最悪の事態を回避することができました。

### 今後の銅山川湧水

令和4年9月の台風14号で貯水率が100%に回復した銅山川ですが、その後少雨により11月28日から自主節水(工業用水15%カット)、12月23日0時から第一次取水制限(工業用水20%カット)を実施しています。

過去最長となった今回の湧水より1ヶ月も早く貯水率が低下しており、早めの湧水対策に努めています。引き続き節水等にご協力を願います。





# ダム管理の仕事 ～ゲート整備工事～

- 池田ダム（昭和 50 年から管理開始）は、徳島県三好市池田町に位置し、洪水調節、河川環境保全等のための流量の確保、吉野川北岸用水及び香川用水に必要な取水位の確保、発電を目的とした多目的ダムです。
- 池田ダムには洪水調節のためのゲートが9門設置されていますが、設置から45年が経過しており、整備が必要なため、降雨が少ない期間（10月中旬から翌年6月下旬）に工事を行っています。

## ～工事の内容～

ゲートの機能を維持するため、ローラや滑車を取り外し、工場に持ち帰り分解し、劣化した部品類を取り替えます。こうした整備や日々の点検により良好な状態を保つことで、ゲートの開閉を安全かつ適正に作動することができます。



①ローラ取外し



②クレーンでローラを搬出



③トラックで工場へ運搬



①滑車取外し



②クレーンで滑車を搬出



設備に隣接する一般道の一部を通行規制し、『安全第一』で工事を進めております。

### 関連するSDGs





# 新宮小中学校で



水のおはなしと

SDGsの総合学習を行いました



吉野川ダム統管理事務所では、昨年より水循環やダムの働き・気候変動への取り組みについて学んでもらうことを目的とした総合学習を継続して行っています。

今回の総合学習は、ノーベル物理学賞を受賞された真鍋淑郎博士の出身校 **四国中央市立 新宮小中学校** と連携して、令和5年1月13日（金）に実施しました。

当日は6年生を対象に「水のおはなしとSDGs」という内容で水の大切さ・ダムの役割・銅山川の水利用・温暖化の影響などをクイズなどで楽しく学びながら、みんなで出来る持続可能な取り組みについて考えてもらえた学習会になりました。



やってみよう!



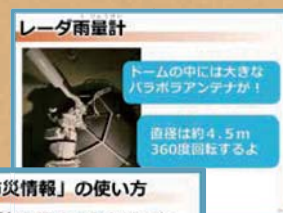
流域はどこまでだろう?



地球の海の広さをビーチボールで体感!



- ～お話の内容～
- ☆流域について
  - ☆水循環について
  - ☆水を利用する工夫（ダムのはたらき）
  - ☆水循環の問題（気候変動）
  - ☆大雨への対応





# ICT施工の流れ

3次元起工測量



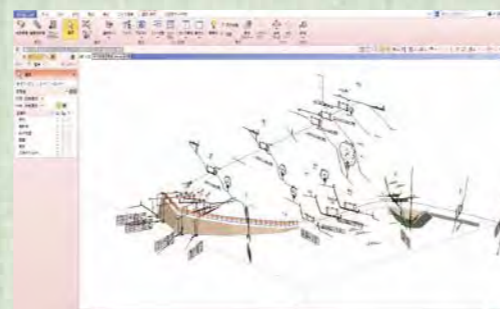
座標管理された基準点に設置した地上型レーザー  
スキャナーで周辺の点群データを取得。測定範囲  
130m～500m(機種による)2回転でデータ取  
得完了。



3次元設計データ作成



起工測量で取得した点群データを点群処理ソ  
フトウェアで解析。3D設計データを作成。



ICT建設機械による  
施工



オペレーターは操縦席のモニター画面のガイド  
を確認しながら建設機械を操作。

3次元出来形管理等の  
施工管理



出来形検査機能を使い、断面を  
計測しタブレット端末に記録。  
(写真は参考)

起工測量と同様に、レーザース  
キャナーにて点群データを取得。

3次元設計データの納品



3次元データと一緒に添付し  
て納品。



小松地区完成予想図  
ドローン(UAV)で撮った画像と3D設計データを組み合わせて作成

きょう  
あい  
狭隘な現場における  
ICT活用工事

ICTとは

- I...Information (情報)
- C...Communication (通信)
- T...Technology (技術)



ICT活用工事の取り組み

四国地方整備局では、平成28年度より直轄土木工事のICT  
T施工の活用に取り組んでいます。年々、基準類が整備され、  
令和4年度にはICT構造物工、ICT小規模土工への適用が拡  
充されました。ICT施工により、丁張作業を行うことなく作業  
が行えるため、土作業全体の迅速化、現場の補助員削減による  
安全性の向上等が期待できます。

中小建設業が施工する現場は比較的小規模な現場が多く、また  
都市部や市街地、山間地などの狭小現場でも小型のマシंगा  
イダンス(MG)技術搭載バックホウを使用したICT施工が  
可能となっています。

今回、受注者の協力を得て、狭隘な現場における小型建設機  
械によるICT施工の現場見学会を実施しました。

## 現場見学会の様子

説明お願いしました



高陽開発(株)  
現場代理人 濱野春樹さん



本工事は、かわまちづくり事業の一環として  
早明浦ダム貯水池周辺の坂路や遊歩道の整備を  
行っています。今回、高知県土佐郡大川村小松  
の現場において、周辺自治体、関係機関の皆様  
を対象に現場見学会を開催しました。  
見学会では、ICT活用工事の一連の流れと  
して地上型レーザースキャナーを用いた3次  
元起工測量、3次元設計データ作成のデモン  
ストラーションや、ICT建設機械における施  
工として、小型のマシंगाイダンス(MG)  
技術搭載バックホウによる横断排水管施工箇  
所の床掘り作業を見学しました。



弊社では、近年の問題であ  
る労働者不足や、職人の減少  
を考慮して様々な取り組みを  
行っており、ICTの導入も  
その一つとなっております。  
数々の施工、施工日数の短縮、  
施工精度の向上等を目的とし  
て、今後はいろいろな場所で活  
用できるように考えています。  
入念な準備も浅く試行錯誤し  
てまいりますが、今後の発展  
に努めていきたいと思います。

関連するSDGs





# 池田総合管理所 流木チップの配布について

水資源機構 池田総合管理所では、出水などにより池田ダムに漂着した流木を、チップや薪に加工して無料配布しています。

流木とは、台風などの大雨によってダム湖に流れてくる樹木のことで、放置しておくとダム放流設備に悪影響を及ぼす可能性があることから定期的に回収し、再利用しています。



流木の漂着状況



バックホウにより積み込みます



各自手積みも可能です



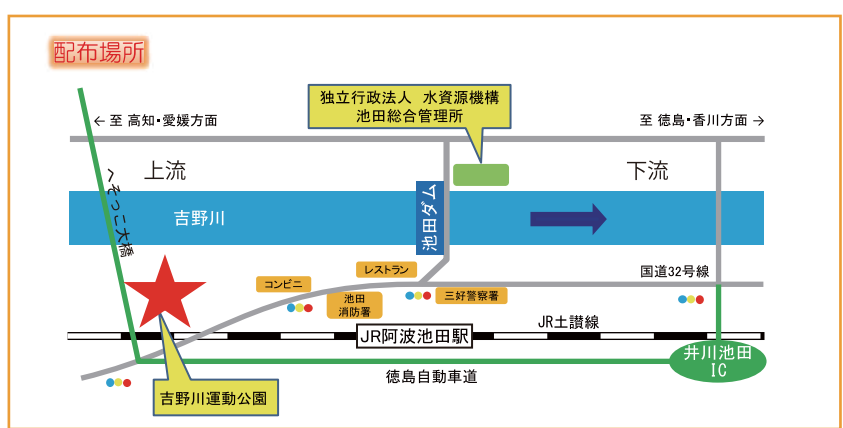
チップ加工の様子



例年大好評につき行列ができることもあります。

令和5年度は吉野川運動公園において、4月下旬から5月下旬頃にチップを配布する予定です。配布日時等の詳細については、三好市報及び池田総合管理所ホームページにてお知らせします。

※無くなり次第終了します。



## 川活で掲載する情報を募集中

川活で掲載する「吉野川上流域の魅力が伝わる」情報を募集しています。この町といえばこれ！というものから、まだ広く一般的に知られていないものまで、その場所に訪れたくなるような情報をお待ちしています！



### 募集テーマ

吉野川上流域の魅力が伝わる地域の活動や写真

### 応募規約 ※ご応募いただく前に必ずお読みください

●ご応募いただいた情報は広報誌「川活」や事務所ツイッター等で使用させていただきます。

### 送付先について

宛先：skr-toukaa60@mlit.go.jp  
氏名（ペンネーム可）、写真にはタイトル、撮影場所、撮影日を記載して下さい。

### 《吉野川みずべ情報誌「川活」とは》

吉野川は、日常生活や産業のための水供給、水力発電などの面で、四国4県を支える大きな力となっています。情報誌「川活」は、レジャー、産業、文化、歴史、また川で活躍する方たちを紹介し、水源地域を含む吉野川流域の活性化の一助になるよう発行しているものです。皆様からも、ダムや川に関連する活発なご意見をお寄せいただければ幸いです。

ご意見・ご感想、耳寄りの吉野川・銅山川上流域の情報がありましたらこちらにお寄せください！  
mail : skr-toukaa60@mlit.go.jp

### 〔発行〕

●国土交通省 四国地方整備局 吉野川ダム統合管理事務所 ●独立行政法人 水資源機構 池田総合管理所  
TEL 0883-72-3000 FAX 0883-76-0301 TEL 0883-72-2050 FAX 0883-72-6376



吉野川ダム統合管理事務所  
ホームページ  
<http://www.skr.mlit.go.jp/yoshino/>



池田総合管理所  
ホームページ  
<https://www.water.go.jp/yoshino/ikeda/index.html>

《住所》〒778-0040 徳島県三好市池田町西山谷尻4235-1 (1~2F 吉野川ダム統合管理事務所 3F 池田総合管理所)